

社会科「領土問題を考える」
グループで自由にネットを活用
して調べ、課題をまとめる活動

未来の学校づくりを進めよう!

荘内中学校は
**GIGAスクールを
推進しています!**

国が推奨する学習用端末の持ち帰りが当たり前になることを想定して、学習の進め方をデザインする必要がある。



朝の会や帰りの会を活用して、Zoom活用テスト

学習用端末の持ち帰りによるオンライン授業の試行を目指して、校内でZoom体験を繰り返し実施



保健体育：マット運動の授業、自分の身体の使い方を動画で確認しながら、修正点を友達と話し合う。

端末利用が困難な教科はない。全ての教科で工夫を進め、学習用端末を文房具のひとつとして扱うようにする。



技術科「本棚制作」

授業の振り返りで自分の授業反省を記入し、制作作品の状況を撮影して教員に提出

授業の見える化（視覚化）と同時に教科書と資料集、ノートとワークシートと学習用端末の関係性を整理して授業をデザインする必要がある。

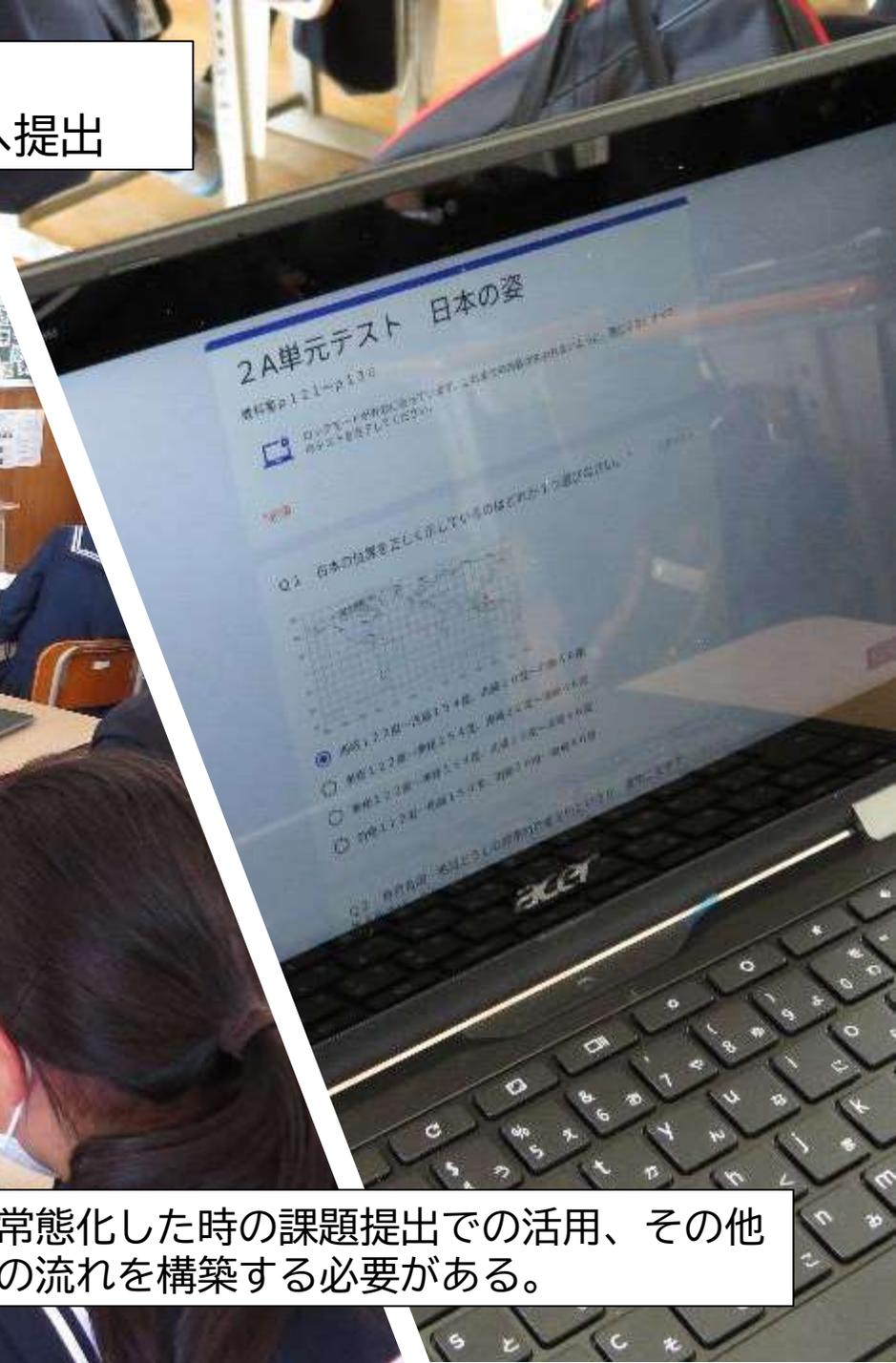


英語科「長文作成」

グループで協議しながら、ネット検索も行い、英作文を作成

社会科「日本の姿」

単元まとめ小テストを端末上で実施し、教員へ提出



今後、学習用端末上でのテストの実施や持ち帰りが常態化した時の課題提出での活用、その他様々な活用方法を洗い出し、整理して総合的な学びの流れを構築する必要がある。



数学科「図形」
デジタル教科書を活用して図
形のイメージを効果的に教授

英語科
教員自作のプレゼンで効果的に
授業推進
(板書との総合的活用が重要)





学習用端末を活用すれば、より効果的にお互いに話し合わせることが可能。漠然とした協議ではなく、論理的に協働的な学びが推進される。

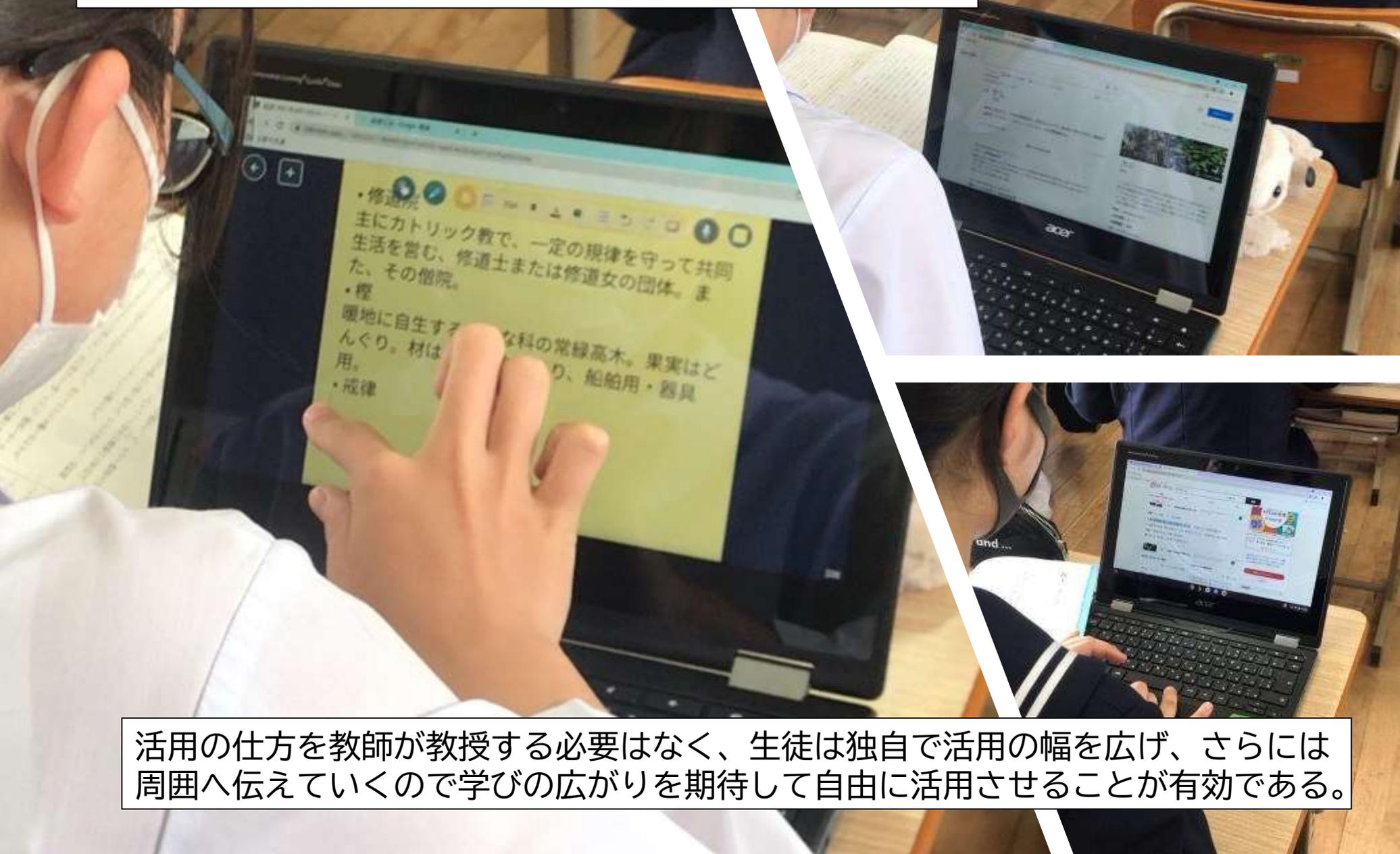
保健体育科「ラジオ体操」

グループごとにNHKラジオ体操動画を視聴し、コツを話し合い、練習する。

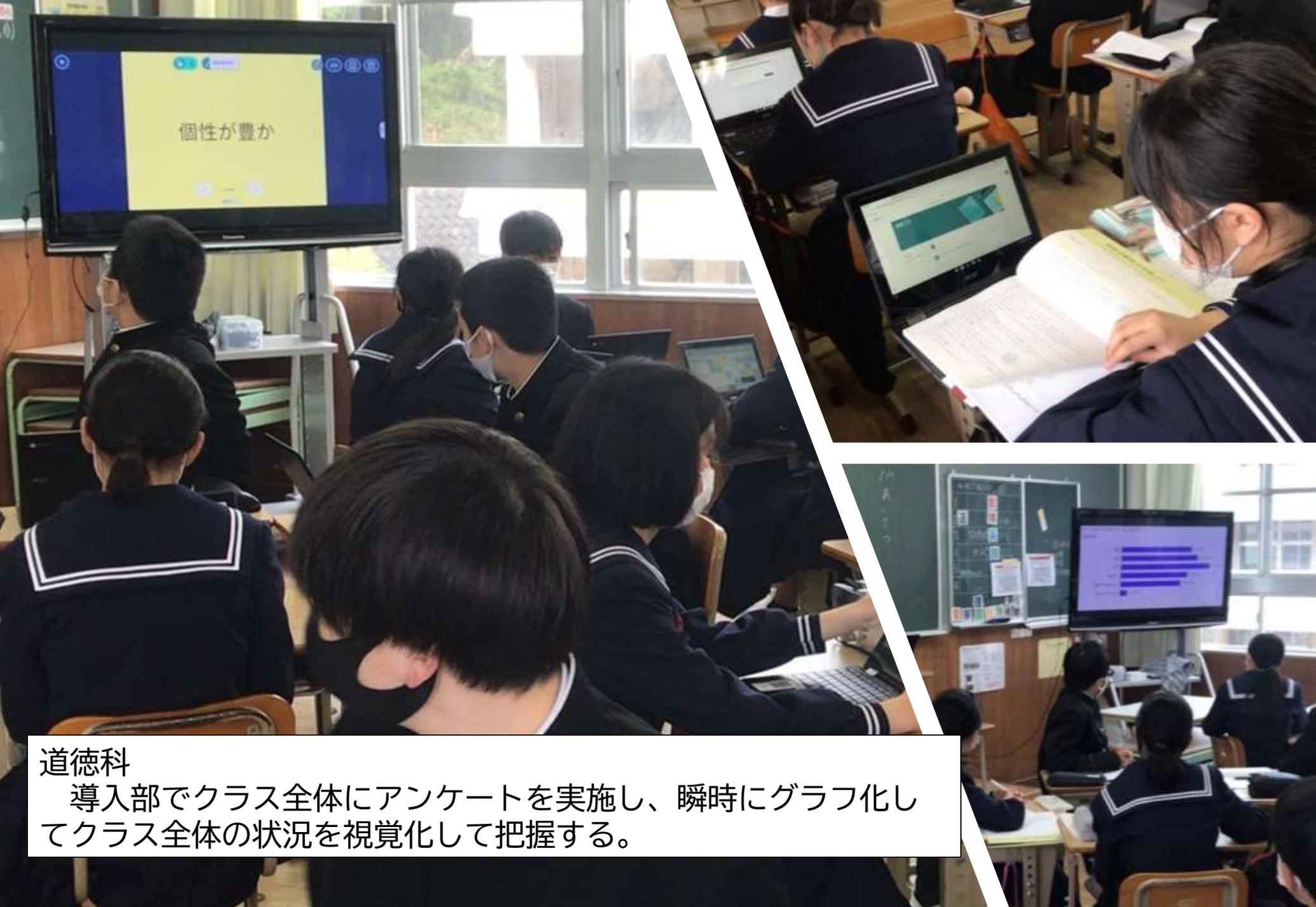


国語科

課題文を音読した後、難しい単語を各自検索して調べる。



活用の仕方を教師が教授する必要はなく、生徒は独自で活用の幅を広げ、さらには周囲へ伝えていくので学びの広がりを期待して自由に活用させることが有効である。



道徳科

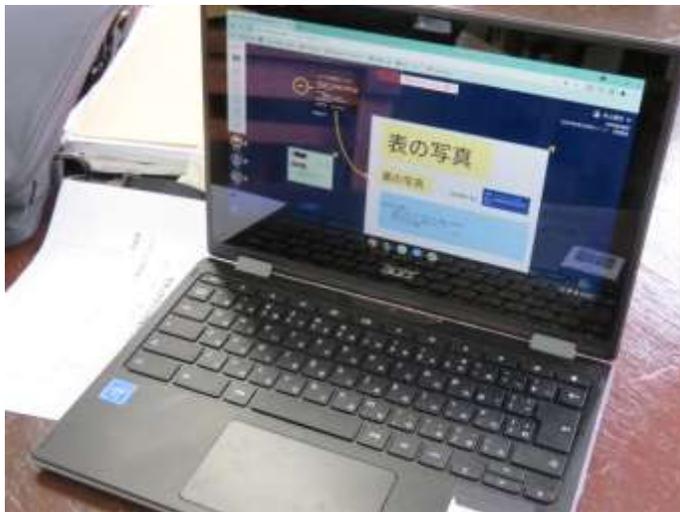
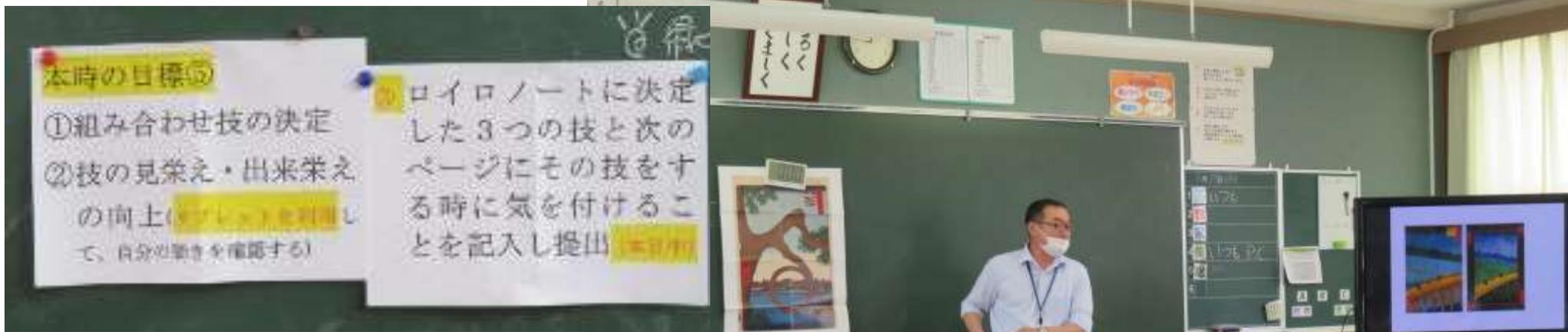
導入部でクラス全体にアンケートを実施し、瞬時にグラフ化してクラス全体の状況を視覚化して把握する。



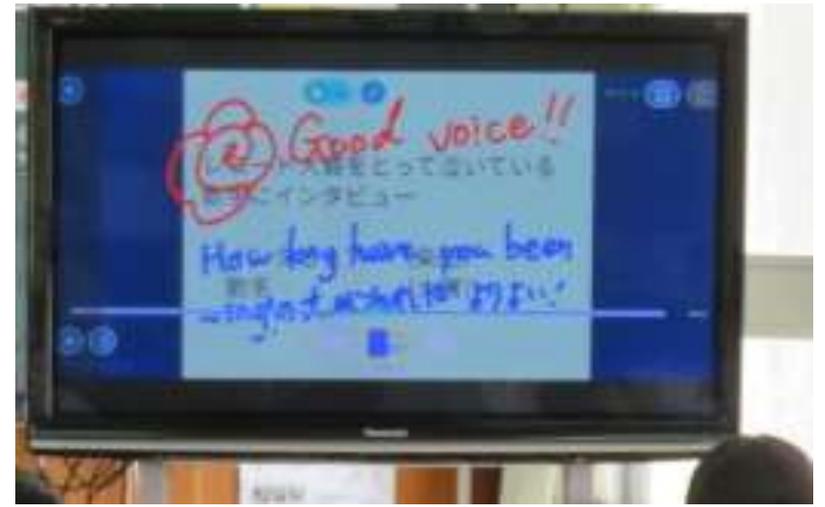
義務教育9年間で発達段階に合わせ学習用端末の活用スキルをどのように伸ばしていくか、各中学校区で明確に計画しなければならない。



技術科
タイピング練習「寿司打」アプリ活用



美術：自分の技法活用を撮影し確認したり、制作の計画や留意点を提出させる。



英語：ペアで提示された課題をクリアする工夫をした英会話を録音し、データ提出
提出されたデータを全員で共有、評価する。

教員にとって自由にさせることは怖い、「自由は伸びる」ことは間違いない。トラブル等は恐れずその都度みんなで解決していく姿勢が必要。



朝の会前の2年生の教室：各人がタイピングアプリで練習したり、調べ学習をしたり自由に過ごしている。

音楽：密を避けて廊下でそれぞれが歌を練習し、録音したデータを提出します。



家庭科：衣装デザインを考える際に、ネットの画像を参考にします。

オンライン授業の試行をはじめました!

教員も生徒もオンライン授業の経験を積むことが必要。
いろんな形を試しながら、何度も試行しなければスキルアップは困難。



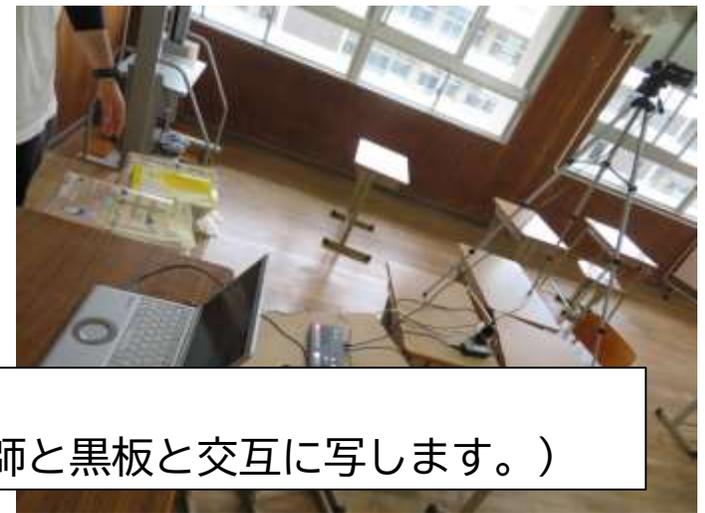
保健室で

◆用紙に指示事項等を記入し、画面で提示するオンライン授業



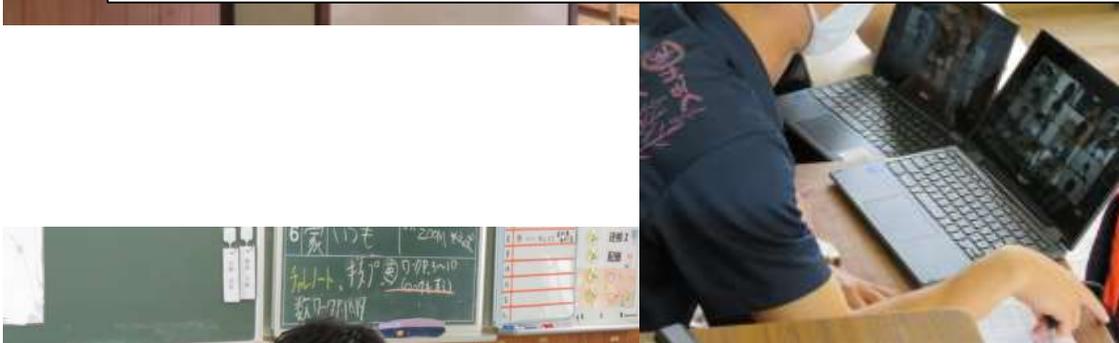
職員室で

◆多くの教員が一斉にオンライン授業実施



各教室で

◆スイッチャー（変換器）を活用したオンライン授業（教師と黒板と交互に写します。）



各教室で

◆二人ペアでオンライン授業（パワポを進める進行役と生徒の状況を把握する見守り役）



各教室で

◆一人で黒板を活用しながらオンライン授業

【GIGAスクール推進の課題】

GIGAスクール推進については教員のスキルアップだけでなく、毎日の通信障害や生徒機の課題等ハード面も気になるところ。



通信障害は全国的な課題で、未だ解決策が明確になっていない。しばらくは臨機応変にペアで共有したり、その時間、繋がらない生徒への心のケアをしていくしかない。



学習用端末整備の後、生徒の机のサイズが気になるところ。スペース的に大きな机は導入できない学校では、どのように整理して授業を進めるかを考える必要がある。



G I G Aスクール充実に向けて必要な考え方

- ◆ルールをシンプルにして自由に活用させる。
ルールは「学習に使うこと」
 - ・登校してから下校まで自由に使用可
 - ・生徒はアプリ機能等は自分で習得
- ◆教員は受け身ではなく積極的に研鑽
 - ・自己研鑽を含め、教員は責任をもって自身の端末活用力を向上
 - ・恐れず授業で徹底的に活用
 - ・他校の活用事例を独自で収集
 - ・データ提出を活用して働き方改革
- ◆学習用端末は授業以外の教育活動で活用
 - ・児童会、生徒会での活用
 - ・自主学習での活用
 - ・不登校児童生徒への支援に活用



荘内中学校は足を止めずに進みます!